

臨床医学系

内 科 学 講 座

膠原病・リウマチ

著 書

- 1 長澤浩平：成人スチル病．リウマチ基本テキスト．351-358，日本リウマチ財団教育研修委員会編集発行．東京 2005．
- 2 牛山 理，長澤浩平：疾患 25：成人スチル病．山本一彦編：シミュレーション内科 リウマチ・アレルギー疾患を探る．172-176，永井書店．東京 2005．

学術論文

- 1 小荒田秀一，春田善男，長澤浩平：樹状細胞上の TLR の発現．臨床免疫 43：713-716，2005．
- 2 Koarada S, Ide M, Haruta Y, Tada Y, Ushiyama O, Morito F, Ohta A, Nagasawa K: Two Cases of Antinuclear Antibody Negative Lupus Showing increased Proportion of B Cells Lacking RP105. J Rheumatology 32: 562-564, 2005.
- 3 Nagasawa K, Tada Y, Koarada S, Horiuchi T, Tsukamoto H, Murai K, Ueda A, Yoshizawa S, Ohta A: Very early development of steroid-associated osteonecrosis of femoral head in systemic lupus erythematosus: prospective study by MRI. Lupus 14: 385-390, 2005.
- 4 長澤浩平：ヘルペスウイルス感染症—最新の診療—帯状疱疹と免疫不全．臨床と研究 82：1475-1478，2005．
- 5 末松梨絵，多田芳史，石井博修，三田村未央，春田善男，小荒田秀一，長澤浩平，大田明英，村山順一，折田直美：大動脈弁閉鎖不全と腸管潰瘍を合併したベーチェット病の一例．九州リウマチ 25：68-72，2005．
- 6 多田芳史，長澤浩平：一忘れてはいけない疾患の診療のポイントー．RS3PE 症候群．内科 95：503-507，2005．
- 7 多田芳史，長澤浩平：一意識障害患者への対応ー膠原病．臨床と研究 82：1785-1789，2005．
- 8 °Takahashi K, Hayashi S, Ushiyama O, Sueoka N, Fukuoka M, Nagasawa K: Development of microscopic polyangitis in patients with chronic airway disease. Lung 183: 273-281, 2005.
- 9 高島 毅，小荒田秀一，三田村未央，春田善男，多田芳史，長澤浩平，大田明英：右横静脈洞血栓症を合併した CNS ループスの一例．九州リウマチ 25：49-54，2005．

学会発表

- 1 °青木洋介，福岡麻美，長澤浩平，永沢善三，草場耕二，高柳 恵，田邊一郎：感染症医から見た院内呼吸器感染症の問題点と今後の対応．第79回日本感染症学会総会．2005，4，14-15．日本感染症学会総会学術講演抄録集 236．
- 2 °福岡麻美，青木洋介，長澤浩平，永沢善三，草場耕二，高柳 恵，田邊一郎：感染症医の早期介入による Bacteremic sepsis の予後の改善．第79回日本感染症学会総会．2005，4，14-15．日本感染症学会総会学術講演抄録集 241．
- 3 春田善男，小荒田秀一，多田芳史，三田村未央，大田明英，長澤浩平：膠原病における樹状細胞上

- の Toll like receptor 発現の検討. 第49回日本リウマチ学会. 2005, 4, 17-20. 日本リウマチ学会
総会・学術集会抄録集 257.
- 4 小荒田秀一：血管炎症候群における可溶性内皮プロテインC受容体の検討. 第49回日本リウマチ学
会. 2005, 4, 17-20. 日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 135.
 - 5 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平：関節リウマチにおける抗 TNF α 抗体 (infliximab)
投与前後の末梢血 T 細胞機能の経時的解析. 第35回日本免疫学会総会・学術集会. 2005, 12,
13-15. 日本免疫学会総会・学術集会抄録集 250.
 - 6 °松浦江美, 大田明英, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平：強皮症患者の QOL について.
第 8 回強皮症研究会議. 2005, 1, 15. 第 8 回強皮症研究会議合同会議プログラム集 14.
 - 7 三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平：成人発症 Still 病の臨床的検
討：特に治療と予後について. 第49回日本リウマチ学会. 2005, 4, 17-20. 日本リウマチ学会総会・
学術集会抄録集 251.
 - 8 シェリフ多田野亮子, 大田明英, 三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平：強皮
症 (SSc) 患者由来線維芽細胞のコラーゲン代謝に及ぼす Hepatocyte growth factor (HGF) の影
響. 第49回日本リウマチ学会. 2005, 4, 17-20. 日本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 225.
 - 9 シェリフ多田野亮子, 大田明英, 三田村未央, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平：強皮
症 (SSc) 患者由来線維芽細胞のコラーゲン代謝に及ぼす Hepatocyte growth factor (HGF) の影
響. 第 8 回強皮症研究会議. 2005, 1, 15. 第 8 回強皮症研究会議合同会議プログラム集 10.
 - 10 多田芳史, 小荒田秀一, 春田善男, 三田村未央, 大田明英, 長澤浩平：MRL/lpr マウスの病態発現
における inducible costimulator (ICOS) の役割. 第49回日本リウマチ学会. 2005, 4, 17-20. 日
本リウマチ学会総会・学術集会抄録集 283.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	長澤 浩平	平成17年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己免疫疾患におけるB細胞表面分子RP105の欠損の重要性と治療への応用	1,300
教授	長澤 浩平	平成17年度厚生労働科学研究費	特定疾患対策研究事業 骨・関節系研究班大腿骨頭壊死症調査研究分科会 (分担)	ステロイド性大腿骨頭壊死症の予防に関する研究	1,000
教授	長澤 浩平	平成17年度厚生労働科学研究費	免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業(分担)	免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	3,000
教授	長澤 浩平	平成17年度「民間との共同研究(区分B)」		自己免疫患者由来RP105陰性B細胞の膜上に特異的に発現する分子の同定とそれに対する抗体の取得	1,000
教授	長澤 浩平	平成17年度「民間との共同研究(区分B)」		自己免疫患者由来樹状細胞の膜上に特異的に発現する分子の解析	500
講師	多田 芳史	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業	RP105分子の関節炎モデルにおける作用の解析および治療標的分子としての可能性の追究	1,200
助手	小荒田秀一	平成17年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成事業 (分担)	自己免疫疾患の新しい発症機序	750